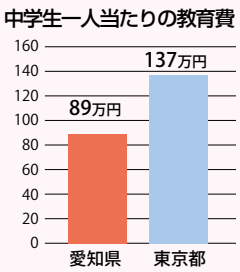
県政のゆがみ、未来を担う子どもたちに



出典：総務省「統計でみる都道府県のすがた 2022」より

中学・高校の一人あたりの教育費が全国最下位の愛知県。東京と比べると愛知の中学生は３分の２の予算しかありません。先生が足りず、自習が増えていることが『中日新聞』でも大きく報道され、高校進学率も毎年最下位を続けているのが愛知県です。

先生が足りない
担任 不在 戸惑う子ども
授業で自習増える

『中日新聞』2022年4月21日付

暮らしや教育にお金をかけない愛知県政のゆがみをただすには、日本共産党の県議が必要です。

しもおく県議の復活で教育予算の増額を！

教員のC.K.さんの応援メッセージ

学校現場では、不登校の子、様々な家庭環境の子、集団行動が苦手な子など色々な特性をもつ子が増えています。先生たちはどの子も大切にしたいと日々奮闘しています。しかし、仕事はそれで終わりません。やりがいはあるけれど、疲弊もしている。先生の負担を軽減することは、子ども一人一人大切にするために重要です。

少人数学級、教員不足解消を訴える下奥奈歩さんの議席がどうしても必要です。

しもおく奈歩のお約束

実現します

- 新型コロナからいのちと暮らし・営業を守る
- ジェンダー平等・だれもが大切にされる愛知県へ
- 格差と貧困なくし、暮らし応援の県政に
- 戦争ストップ！平和憲法をいかす地域づくりを
- 東三河をエネルギー・食料自給のエリアに
- 県民のみなさんとともに安全・安心のまちづくりを

しもおく奈歩

公式LINEにご登録
よろしくおねがいします

LINE

ツイッターはこちらから↓

プロフィール

1987年生まれ。豊橋市立栄小学校、豊橋市立南部中学校、豊川高校卒。椙山女学園大学人間関係学部中途退学。民間会社に勤務。県議会議員１期。
現在、日本共産党愛知県委員、党東三地区常任委員。
趣味○カフェ巡り
好きなスイーツ○プリン
好きなアーティスト○中島美嘉

愛知民報 2022・2023年 号外 日本共産党の見解を紹介します。
（発行）日本共産党愛知県委員会 〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号 愛知あかつき会館内

新型コロナから、県民のいのちとくらし守ってと、
何度も県に申し入れてきました。

コロナ禍で苦しむ若者から、
学費の引き下げや
最低賃金引き上げてと
切実な声が寄せられました。
男女の賃金格差や生理の貧困も
浮き彫りになりました。

自己責任押し付けではなく、
誰もが生きやすい県政へ。
若者、女性、豊橋の声が届く
県政の実現へ頑張ります。

前県議会議員

ツイッターはこちらから→

しもおく奈歩

声をあげれば政治は変わる

いのち くらし 大切にする県政へ

左から、斎藤ひろむ豊橋市議、しもおく奈歩前県議、鈴木みさこ豊橋市議、中西みつえ豊橋市議

日本共産党

しもおく奈歩が語る

“私が政治の世界に飛び込んだ理由（わけ）”

インタビューにこたえる
しもおく奈歩前県議

豊橋市内で子育て中の伊藤さんが、しもおくさんにインタビューしました。

大学リタイア　就職難で自信喪失の日々

伊藤 政治家をめざすきっかけは？

しもおく 大学生の時に人間関係で躓いたことがあり中退しました。バイトをしながら正社員の仕事を探すためにハローワークに通いました。ひたすら仕事を探すっていう日々が１年くらい続いたんです。だんだん自信がなくなるし、**大学を中退した自分は悪いんだと、後ろめたい気持ち**もありました。

若者を大切にする日本共産党に共感

しもおく そんなときに**日本共産党に出会って、「苦しいのはあなたのせいじゃない」**「政治を変えて生活や働き方を変えられる」という話に共感したんです。いまの若い人たちが私と同じように苦しむんではなくて、**「やりたいと思ったことに挑戦できる社会、誰もが正社員として働くことができる社会をつくりたい」**と思ったことがきっかけでした。

同世代や地域の声を届けた県議時代

伊藤 しもおくさんの議会質問で性暴力被害の相談窓口カードを県下の全高校生に配布するようになったんですよね？

2018年10月2日の県議会・本会議質問

しもおく 性暴力の問題が浮き彫りになり #Me Too 運動が広がる中で、愛知県で被害者の自助グループを訪ね、被害者のお話しを聞きました。深刻さに、ショックを受け、被害者支援の一歩として、**「助けを求められる場所がある」と知らせる相談窓口を記載したカードを**高校生に配布することを議会で提案し、実現しました。

伊藤 地域の方からの要望はどんなものがありましたか？

しもおく コミュニティバスの拡充です。石巻の「柿の里バス」に乗車し、利用者から「病院に行くのに便利」「地域の人とつながれる」と声が寄せられました。

交通不便な地域は、「年をとって運転できなくなると、外出したくても交通手段がない」という声が寄せられました。**自由に出かけられる地域の足が必要です。**コミュニティバスに県が財政支援をして拡充してほしいと、議会で３年間繰り返し声を届けました。

力を合わせて再び県会議員に

しもおく 議席を失ってからコロナ禍で、現場の切実な声を県議会に届けられないことがホントに悔しかった。要請で実現してきたこともありますが、**医療体制や保健所体制の拡充などまだまだ実現できていないことはたくさんあります。**議席復活へがんばります！

伊藤 議員になっても気楽に政治を話せる友だち。奈歩さんと話すと、私たちの生活の中の**「ちょっと嫌だな～」**は大切な思いだと気付かされます。**「え？これ、我慢しなくていいの?!」**って。**「生理用品をトイレに」、「痴漢に鉄道各社は対策を」、「先生を増やしてほしい」「給料上げて」**――しもおくさんがこれまでも抜群の行動力とスピード感で政治を動かしてきた事を知ってます。それに愛知県には女性の議員が少なすぎ！しもおく奈歩さんの議席のために私も一緒に頑張ります。